



NO.1041

2015.10.25

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三・四四五八  
F 四三・四四五七



# 「あきらめない」 戦争法の廃止まで！

「ストopp！戦争法網走の会」（略称ストoppの会）は17日、駒場ベーシック店前、川向ベーシック店前の歩道で抗議宣伝行動を行いました。歩道向かい側から熱く手を振る人や、買い物帰りに列に加わる人など、「戦争法廃止へあきらめない」と言う市民と、思いが伝わる宣伝行動になりました。

「ストoppの会」では、こうした市民の思いを広げ、廃止にむけた運動を広げたいと、講演会を企画しました。

11月21日（土）午後1時30分  
講師 神保 大地 弁護士  
ところ B&Bあばしり  
参加費 500円

多くの市民に聞いてもらいたいと話しています。



## 「戦争法廃止の 国民連合政府」の 実現の申し入れ

日本共産党網走市委員会は19日に、松浦市委員長と菊地副委員長が、「戦争法廃止の国民連合政府の実現を呼びかけます。」の中央委員会が作成したパンフレットを持って、民主党と新党大地、社民党を訪問し懇談しました。

「国民連合政府の実現に向け野党が結束して安倍政権を倒しましょう。」  
そのためには、選挙で野党が多数の議席を取る必要がある

ります。ぜひ、力を合わせましょう」と訴えました。民主党の平賀支部長は、「申し入れについては分かりました。検討させていただきます」と答えました。  
新党大地の古都議員は、「北見の上部に渡して検討します」とのことでした。  
社民党の本宿支部長は「分かりました検討します。共産党の言っていることが一番正しい、頑張ってください」と励ましを受けました。国民連合政府実現の期待も大きい事を感じました。

## 日本共産党網走市委員会 新役員体制決まる

日本共産党網走市委員会は、会議を開き、この間の活動の総括と今後の活動方針を決め、その活動を推進していく新しい市委員会の体制を次のように決めました。

委員長に松浦敏司氏（現）、副委員長に菊地宏氏（現）と佐藤栄士氏（新）を選出しました。安倍自公政権の暴走する政治と対決し、戦争法の廃止、集団的自衛権行使の閣議決定を撤回する国民連合政府を実現するため全力を挙げます。  
市民のみなさんのご支援をよろしくお願いします。

## 松浦奮戦も せきせき

先週の金曜日に「平和の願いを網走から」の集會に参加しました。

今回も国民連合政府の実現のために野党が力を合わせて、安倍内閣を打倒しよう。そのためにも選挙協力が必要だと訴えました。その後、ある参加者がマイクを握って、自分はこれまで自民党政治に対して野党が結束しなければダメだと言ってきたが、残念ながら理解してもらえなかった。「今回、あの共産党の志位委員長から19日に、安倍政権を倒すために野党結集の呼びかけがあったが、野党はこの呼びかけに応えるべきだ」と、共産党の国民連合政府の呼びかけを歓迎する発言をしました。  
私は、その彼とガッチリ握手をして、何としても安倍自公政権を倒そう。やれることは何でもやろうを誓いました。闘いはまさにこれからです。

## 菊地ひろし まっしぐら

町内会のみんなに誘われて18日、はじめてパークゴルフをしました。用具も貸してもらって始めてのグリーンは、「パークゴルフ日和だ」と言う天気も幸いしてか、実に気持ち落ち着く不思議な感覚でした。日頃の疲れもどこへやら、楽しい気分になりました。そしてみんなの楽しみのもう一つは懇親会です。

話題はパークゴルフだけではありません。町内会の人たちの様子や、「この間の台風は大丈夫だったか」「高齢化の中で続けられる町内会の活動は？」「今の政治はどうなっているんだ」など多岐にわたりました。私をパークゴルフに誘ってくれた方は、「パークなんかどうでもいいんだ、そのあとの懇親会がみんな楽しみなのだ」と話していました。  
いろいろな話題をみんなで話し、一人ひとり意見が違っても排除しない、そんな町内会の人達を、安倍首相にも学んでほしいと感じた1日でした。